

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)	良くなる	商店街（代表者）	・今の世の中の動向が大きく変わらない限り、アベノミクス効果は続く。また、私鉄の相互直通効果は、気候が良くなればなるほど大きくなる。
		百貨店（店長）	・給与が上がれば、更に良くなる。
		コンビニ（経営者）	・マスコミが良くない、良くない、と言うと景気は悪くなるが、今の状態ではアベノミクスが非常に功を奏していて、我々事業者としては非常に嬉しく思っている。これから間違いなく良くなる。
		家電量販店（営業統括）	・夏の行楽シーズン目前となり、旅行関係、アウトドア関係の商材の販売数量が増加している。引き続き外国人観光客は右肩上がり増加していくと予想しているため、免税販売は好調に伸びていくと考えている。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・アベノミクスの勝利である。
		旅行代理店（経営者）	・2、3か月先の予約もようやく埋まりつつあるため、大分良くなってきているようである。個人客、団体客共それぞれ、初夏に向けて旅行しようという話が出ているため、今のところ期待している。
		旅行代理店（従業員）	・国内団体旅行の2、3か月先の予約が好調になってきており、電話対応、手配業務を処理するのにかなりの時間を要している。各地から都内への団体旅行の動きが特に好調である。
		通信会社（経営者）	・政策によりマインドは良くなってきているため、早く実体経済に波及して欲しい。
		観光名所（職員）	・これから観光シーズンとなり、毎年4月よりは徐々に良くなってきているため、かなりの来客数を期待している。
	設計事務所（経営者）	・顧客から問い合わせが増えてきている。内容は様々だが、ある程度の期間と費用が必要な仕事も動いてきている。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・社会全体のベースが上がることで、ある程度、販売量は増加すると思う。
		商店街（代表者）	・周りの状況から、良くなるような気がしている。
		商店街（代表者）	・電気、ガス料金の値上げが控えており、消費者が買い控えることもある。それが一段落してアベノミクスの効果が多少、我々にも及んでくるようになれば、少しずつ伸びてくると思うが、現状ではなかなか難しい。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・アベノミクスなどで、円安、株高などの景気に対するムードが良くなりつつあるため、期待している。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・いくらかムード的に景気が良くなる方向に向いているようだが、実体として所得が増えるということではない。しかし、ムードが良くなるということは、やはりやや良くなるのではないか。
		百貨店（総務担当）	・経済のファンダメンタルという部分で数字が良くなっているとはまだ実感できないが、景況感、また、各企業の業績の好調ぶりを考えると、この景気の上向きは、消費税増税前までは続くのではないか。
		百貨店（営業担当）	・円安、株高がある程度景気を良くしているが、一方で原材料高騰などにより、製造メーカーが苦戦しているのも事実である。夏の賞与支給情報が前年比マイナスにならなければ、良い状況を維持できそうである。
		百貨店（販売管理担当）	・株価上昇がすぐに所得の増加につながるわけではないが、明らかに今まで我慢していたファッション関連商材に動きがみられる。今後の消費、購買意欲の回復に大きな期待が持てる。
		百貨店（副店長）	・外商顧客の客単価は上がっていないものの、買上金額は増えている。政府の政策、例えば税制改正などを受けて消費を拡大しようとしている客の声を多く聞く。
百貨店（管理担当）		・新政権の経済政策であるアベノミクス効果による円安、株高の恩恵を受けた企業の好決算が続いている。	
百貨店（営業企画担当）	・高額品は堅調であるものの、衣料品は天候の影響も大きく、3月に需要が前倒しになっていた傾向がうかがえ、本格的に回復するかどうかは、今後の消費者の収入の動向に左右される。		
百貨店（計画管理担当）	・景気はマインドで大きく変わると思うが、元々当店の主要顧客は、資産を持っているが貯めこんでいるため、世のすう勢が変わることによって消費が活発になることを期待している。		
スーパー（店長）	・今後の経済対策にもよるが、客のなかで給与増や雇用の改善から、将来の不安が減り、お金を使おうという流れがあり、さらに良くなっていくのではないかと期待している。		

スーパー（店長）	・競合店が出店してから4か月になるため、現在の底から脱するという意味でも、今よりはやや良くなると期待している。
スーパー（店長）	・賃上げや株価上昇により、景気に対する期待感と消費マインドの上昇がかい間見えて、良い方向へ向かっていく。
スーパー（営業担当）	・このまま円安、株高が継続するようになれば、相關関係で良い方向にどんどん向かってくるのではないかと。
スーパー（仕入担当）	・景気自体は上向きになっていくと思うが、円安により輸入商品の値上げ幅が大きくなる傾向にあり、懸念される。
コンビニ（経営者）	・アベノミクスで一部では景気上昇の動きがある。それが我々に回ってくるかは疑問だが、暑くなるころに回ってくるのではないかと一応期待している。
コンビニ（経営者）	・客の買物動向が変化している。低価格商品志向は根強いものの、高品質商品が伸び続けている。
コンビニ（経営者）	・近隣スーパーにレンタルビデオ店がオープンする。集客力がある店舗のため、流れが変われば期待が持てる。
コンビニ（経営者）	・近隣のスーパーが閉店し、気温も上昇してくるため売上は上がる。
コンビニ（店長）	・一気に良くなるとは思えないが、来店客の動向から、緩やかに客の気持ちがいよいよ買ってみようというように変わってくる機運を感じている。
コンビニ（商品開発担当）	・他のセールもスタートしたが、前回実施したものより反応が良く、徐々にではあるが消費動向が上向きになってきている。
衣料品専門店（経営者）	・数か月前と比較して、販売単価は変わらないものの、来客数や販売量が少し増えてきており、これが景気を押し上げて行く原動力になっていくように感じている。
衣料品専門店（経営者）	・価格だけの商品ではなく、気に入った良い商品を選びたいとの感じが、今までより多くみられる。介護施設から出張販売の要請が2件あった。売上はまだ少ないが、周りに施設が多いため、営業をかけている。
衣料品専門店（店長）	・景況感が上向いていることから、客のマインドが財布のひもを緩くして、買上点数が今後も増加していくと予想される。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしており、整備は順調に入っているが、販売は少し足踏み状態になっている。恐らく消費税増税前の駆け込み需要で、来月からまた販売が良くなる。
乗用車販売店（経営者）	・新規客が増えてきており、既存客の新車への買換えも増えてきている。
乗用車販売店（販売担当）	・4月は中だるみということで3月よりは若干落ち込んだが、中古車市場では玉不足状態が続いており、建築関係のダンプカー、クレーン車については相当高く売れているため、将来的には建築関連を含めて伸びていくと判断している。ただし、車両が高値でしか入ってこないため収益は得られていない。
乗用車販売店（営業担当）	・今の政策が続けばという期待を込めて、やや良くなる。
乗用車販売店（店長）	・新型の軽自動車投入、また車検、点検は月初から計画以上のペースで好調に推移し、客の景況感も高まっている。やはりアベノミクスの効果だろうか。期待している。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・世間がアベノミクスへの期待感を抱いていると感じるためである。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・景況感の改善が継続しそうである。
高級レストラン（店長）	・大口の宴席予約が普段よりも早い時期に受注できている。
高級レストラン（支配人）	・法人、個人共に消費マインドは確実に上向いてきているため、数か月先に関しては期待をしている。ただし、それ以降になると原材料の値上がりの影響が出ることも予想され、どこまで利益が出せるか疑問である。
一般レストラン（経営者）	・新しいリピーター客の増加がみられ、外食におけるすみ分けがはっきりしてきている。
一般レストラン（経営者）	・まだまだ前年比100%を超えられずにいるが、前年の4月は前年比90%前半だったため、前年に比べると良くなっている。夜の売上がほんの少し上がってきている。期待したい。
都市型ホテル（スタッフ）	・実体経済がこのまま良くなっていけば、ホテル等のサービス業へも徐々にそれが波及してくる。

都市型ホテル（スタッフ）	・緩やかではあるが個人での宿泊やレストラン利用が増えてきており、法人から宴会の問い合わせも多く、景気回復への動きがみえる。先々の予約見込みもそこそこで良い方向で進んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	・宴席の先の入込は婚礼、一般法人共に前年同時期をオーバーしており、宿泊も周辺での今後のイベントには変化はない。レストラン関係は予約の入りがだんだん遅くなってきているが、孫を囲んでの食事や、あまり堅くならない両家の顔合わせでの個人のお祝い利用や法事での利用は少しずつ増加しており、こうした傾向は今後も続く。
旅行代理店（支店長）	・法人関係は6、7月前半の交渉がピークを迎える。また、7月からの夏休みに向けた動きが例年より早く始まっており、個人の動きも活発になってくるため良くなる。
タクシー運転手	・政権が変わり、アベノミクスで円安になり、株価は上昇している。一般消費者としてはまだ景気が良くなったという実感はないものの、今までが悪かっただけに期待感が高まっている。
タクシー運転手	・今年に入って確実に良くなっている。深夜の利用が増えてるのが良い例で、チケットの利用者、長距離の客共に多くなっている。売上が昼夜とも平均して伸びている。
タクシー運転手	・労働団体は、まだ雇用と労働条件が改善していない今、家計の所得を増やして、雇用や将来の不安を払しょくすることが大事だと言っている。またT P Pへの参加でメリットもデメリットもあるが、デフレ脱却に向けて日本列島が動いているようにみえるため、景気は上向きと言いたい。
通信会社（経営者）	・スマートテレビ向けのセットトップボックスの新規販売及びセットトップボックスからの移行が今後も見込まれる。
通信会社（営業担当）	・景気が良いという実感はないが、近い将来は良くなるだろうとの期待感が大きい。
通信会社（営業担当）	・価値を見出せないサービスへの支出は削減するが、良いサービスへは支出を増やす傾向が続く。
ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の予約数が、例年同時期を上回っている。
ゴルフ場（支配人）	・レジャー産業の一員として考えれば、現役をリタイヤして時間や予算の面で少しゆとりがある人々が増えてくると考えられるため、これから4、5年はやや良くなると思う。しかし、今後、底辺の広がりがありあまり期待できない状況では、企業としては厳しいものがある。
その他レジャー施設 【アミューズメント】 （店長）	・3月下旬より下降していた客単価が上がってきており、ここ数か月の動向から単価の高い客層が増加してくると考えている。
その他レジャー施設 （経営企画担当）	・円安による外国人観光客の増加が既に表れており、今後も増加が見込まれる。
美容室（経営者）	・客の買上や利用が増えている。
その他サービス【保険 代理店】（経営者）	・客の様子から、6～7月の売上は期待値も含め、増加すると思う。少しずつではあるが、購入予約を始め購買意欲が感じられ、大いに期待している。
その他サービス【立体 駐車場】（経営者）	・景気が上向いてきた都市や企業が報道されているため、3か月もすれば当地域も良くなるだろうという希望的観測である。
設計事務所（経営者）	・民間の仕事もやや好調であり、問い合わせも大変多くなっている。行政の仕事も新年度になり、指名が1日に何本も入るような状況である。ただし、競争ということではなかなか厳しいが、仕事を選べるということは良いことだと思っている。民間の仕事プラス行政の仕事を合わせて、少しでもチャンスをものにしようと考えている。
設計事務所（所長）	・2、3か月前まではほとんど相談すらなかった民間の物件が、ここにきてやっと相談等があり、具体化する方向に向かっていることを考えると、今後良くなるのではないかと。
住宅販売会社（経営者）	・新政権に変わり、数々の景気対策が出されているが、その効果がまだ出てきていない。即効性のある景気対策を期待している。今年中に景気を回復させないと来年4月からの消費税増税もできないのではないかと。良くなることに期待している。
住宅販売会社（従業員）	・まだまだ景気は良くなっていく。しっかり景気の波に乗り、他社と競合しない分野に力を入れていければ良くなる方向に向かう。5、6月が重要になってくる。
住宅販売会社（従業員）	・来場者数、資料請求数などから考えると、若干良くなっていく。
住宅販売会社（従業員）	・特に収益物件については、今後、消費税増税前に工事請負契約を締結し、増税後に引き渡してほしいという要望が出てくることを見込まれる。

変わらない

商店街（代表者）	・今回のゴールデンウィークは、途中に平日が入ってしまうため、連休を取りにくいと思う。将来は、連休が続くように政府が何とか考えたほうが良いのではないかな。
商店街（代表者）	・テレビ等の報道では円が安くなる、株が上がるということで、輸出関連の企業についてはかなりの貢献をしていると思うが、我々中小零細企業がそのような状況を感じるにはほど遠い。暮れごろにならないと少し変わったという感じは出てこないと考えている。
一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・マスコミ等で景気が良くなっているという報道が聞かれるが、まだまだ実感が伴っていない。
一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・変わる要素が見当たらない。
一般小売店〔文房具〕（経営者）	・今月ほどは良くなれないと思うが、そこそこはいくのではないかな。
一般小売店〔印章〕（経営者）	・報道等でアベノミクスが騒がれているが、業種によって相当左右される。小売業がこの厳しさから立ち直るには時間を要する。
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・急激に単価が上がったり、来客数が増える等はなかなかないのではないかな。また、大口の案件もこの後それほど件数が多いわけではないため、あまり変わらない。景気的には緩やかにながら同じように推移していくのではないかな。
百貨店（売場主任）	・2～3か月先ではまだ給料が上がっていないと思われるため、変わらない。
百貨店（総務担当）	・企業は内部留保するだけで、給与を上げるとは思えない。結果として個人消費は良ならず、消費税増税で致命的な打撃を受ける。
百貨店（総務担当）	・経済的な問題だけではないと思うが、特に良くなる材料に乏しい。ただし、消費税増税前の駆け込み需要などの影響で、半年後ぐらいのスパンでは売上増が見込めると考えている。
百貨店（広報担当）	・政府の支持率も高止まりで、日銀との景気浮揚策連携もうまく回っている。来客数や売上も好調で、直近では景気を冷やすような要因は見当たらない。したがって、何らかのアクシデントが発生しない限り、来年の消費税増税までは何とか現状の景気が続く。
百貨店（営業担当）	・今後の経済状況に影響されると思うが、現状から大きく変化があるとは考えにくい。交通アクセスの変化により、他商圏への流出が懸念されるが、景気上昇に伴い客単価が向上することにより、売上の変動は少ないと推測する。今後、株価下落等により、高所得者の購買意欲が低下すると厳しい状況になる。
百貨店（営業担当）	・ボーナスの大幅増があれば変化はみられると思うが、大きな変化はないと思う。婦人服に売れ筋や大きなトレンドの流れがない以上、変化は見込めない。
百貨店（営業担当）	・アベノミクスの期待から円安、株高が続いており、宝飾品、美術品の動きが良くなったが、婦人服、紳士服等の衣料品や服飾雑貨の動きは今一歩であり一過性の感もある。
百貨店（販売促進担当）	・景気自体は引き続き現在の状態が続くと思うが、客の買物に対する慎重な姿勢は変わらない。
スーパー（経営者）	・3月の後半から4月にかけて段々悪くなってきている。天候の影響も多少あるが、客の買上状況が非常に良くない。余計なものは買わないため、決して景気が良いとは思えない。2～3か月はまだこの状態が続くと思うため、悪いままで変わらない。
スーパー（総務担当）	・社会全般では、景気が上向いている、株価が上昇していると言われているが、個人の可処分所得については、あまり増えていないようである。また、円安ドル高で小麦粉や油等、またガソリン等が値上がりしているなかで、身の回りの商品、頻度性の高い物を扱っているスーパーでは、なかなか客が買物をしない状況のままだと思う。
コンビニ（経営者）	・今の時点では何ともいえない。
コンビニ（エリア担当）	・直近の来客数を前年比でみると、しばらく変わっていない。また、今のところ今後も変わる兆しがない。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数は回復しておらず、実感として回復につながるにはまだ時間がかかる。
衣料品専門店（経営者）	・ゴールデンウィークから様々な形でイベントを予定しているが最近稼働率が悪く、数字が読みにくい。商材的にも春物消化と初夏物を導入するが、仕入れの一部インポート商材は値上がり気味になりそうであり、シビアな客には価格で苦戦しそうである。
衣料品専門店（経営者）	・7月は参議院選挙が予定されているため、天候にもよるが消費は停滞するのではないかな。

衣料品専門店（店長）	・企業の業績が改善しているわけではないので、インフレターゲットの政策でムードは良くなっているものの、実際に末端の企業まで給与に反映するのは1年以上先なのではないか。
衣料品専門店（営業担当）	・アベノミクスで円安や株が上がっても我々の商売は厳しくなるばかりである。現金問屋ではウォンが上がり、昨年と同じ値で売ることができず、仕入れを断念するか、違う物、価値観の合う物を探して仕入れるしかなくなっている。電気料金や小麦粉などの食料品価格が上がり、主婦の財布のひももきつく縛られるばかりである。給料が上がったなどと言っているのはごく一部であり、ほとんどの人は給料は下がっている。日本は確実に下向きである。
乗用車販売店（経営者）	・アベノミクス効果でと思ったが、市場は意外と冷めている感じがする。
乗用車販売店（渉外担当）	・受注は前年よりは減少しているものの、目標に対し堅調に推移している。今後も各社から安全で燃費性能が高い新型車の投入があり、この傾向は続く。
住関連専門店（店長）	・ゴールデンウィーク前の買い控えがみられるのは、連休中に遠出、旅行する人が多いためと考えられ、連休後も母の日を境に、消費が落ちると思う。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今年の夏も暑くなる予想のため、季節に合わせた展開をしっかりとできれば勝機はある。
その他専門店〔雑貨〕（従業員）	・2月ごろから新しい店をどんどん作っているが、その売上も落ちずに割と順調にきている。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・今後の為替の動き、天候等、様々なことが影響してくると思うので、正直分からない。しかし、良くなる要素はない。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・5月中旬～6月にかけて各社から新ハードの発表などがある見込みだが、かつてのように驚きをもって市場に受け入れられることはないと思う。
一般レストラン（経営者）	・マスコミ、テレビ等で報道されているとおり、アベノミクス効果で、株高、インフレになってくるという状況で、一般消費者の気持ちも随分違ってきているような気がする。決して所得が増えているということではなく、この先良くなってくるといふ雰囲気があるため、飲食しようという傾向が多少ある。決してゆとりが出ているわけではなく、現実的なものはまだまだだと思う。
一般レストラン（経営者）	・客単価自体は若干上がってきているように感じるが、やはり慎重に消費し、使いすぎってしまった時には回数を減らすという消費行動になっているため、しばらくは横ばい、もしくはやや悪くなる。
一般レストラン（スタッフ）	・先の見通しは立っておらず分からない。大企業の仕事は動き出しているが、中小企業はまだ動いていないため、全体を平均すると何も良くなるとは思わない。ただし、今は前より夢があり、明るい気持ちである。
旅行代理店（従業員）	・先行きの受注状況は、前年比100%ぐらいで推移している。
旅行代理店（従業員）	・旅行業まで好景気は波及していない。
旅行代理店（営業担当）	・昨年4月の高速道路バス事故以来、厳しい状況が続いている。
タクシー運転手	・政府の経済政策への期待感はあるが、それが末端まで波及するにはしばらく時間がかかる。
タクシー運転手	・とにかく客は先のことで迷っているような感じである。不安の上に迷いが出ており、やはり今までと変わらない状態である。
タクシー運転手	・マスコミで百貨店の高額商品が売れたなどと報道されているが、まだ我々の業界においてはそのような心配すら感じられない。
タクシー（団体役員）	・2～3か月後は、そろそろ参議院選挙に入る。毎回選挙期間中は企業はもとより一般客の利用が落ちる。しばらくは現状のままだと思う。
通信会社（社員）	・今度の選挙結果は興味深いと思っている。好調に転じる要素が特にないため変わらない。
通信会社（営業担当）	・アベノミクスの効果は一般消費者にはまだ回っておらず、しばらくは購買意欲には大きな変化はみられない。
通信会社（総務担当）	・景気回復の兆しがみられるものの、デフレの根は深く、すぐには良くはならない。

通信会社（局長）	・他社との競争が更に激化するなかでは、ARPU（通信事業における加入者1人当たりの月間売上高）の低下が危ぶまれ、それをカバーする契約数の増加の期待が今一つのため、収益的には景気が良いとはいえない。ただし、今後世帯収入が上がる傾向になれば、精神的に余裕が出てくる層への販売強化に期待は出てくる。	
通信会社（営業担当）	・株価の上昇と物価の上昇でプラスマイナスゼロである。このまま株価が上がり続けられれば、それなりの反応が出てくると思うが、一般消費者が恩恵を感じられる状況はまだ先の感がある。	
通信会社（管理担当）	・春のトレンドで後半もそのまま推移することが多く、この状況は変わらない。	
遊園地（職員）	・ガソリン代も値下がりせず、さほど景気回復に向かっているような印象がない。	
ゴルフ場（従業員）	・天候不良が常態化とすると景気は悪くなるが、新政権に期待し変わらない。	
パチンコ店（経営者）	・店の状況は客の懐具合もあるが、人気のある機械かどうかにも左右される。これから先、特別良い機械は出ないが、コンスタントには出るため、先行きは変わらない。	
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・消費税増税前には景気は一時的に盛り上がりを示すものと考えているが、これが続くか続かないかまだ不明のため、変わらない。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・4月が終わり、新入生の数は例年と変わらず、辞めていく人数のほうが多い。景気が回復しているとは考えにくく、現状維持である。	
設計事務所（所長）	・アベノミクスと言われているが、個人や零細企業が豊かにならなければ、我々零細企業は上向かない。	
設計事務所（所長）	・いずれにしても仕事量をもっと増えてこなければならぬ。また、人出不足なども考えられる。これから3か月先はそれほど大幅には変わらないというのが一般的な見方だと思う。景気が良くなっているとはいっても、まだ大企業ばかりが良いような感じを受けている。	
設計事務所（職員）	・円安による鋼材価格の上昇、労務単価の上昇、一部職種の慢性的な労務不足、建設業界としての適正価格受注等、建設コストは急激に上昇している。消費税増税も加わり、民間の発注量の動きがどのように変化するか読みにくい。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要により、受注は増加すると予想される。それによる売上効果はまだ先になるため、景気回復は少し先になる。	
住宅販売会社（従業員）	・今月の来場者の状況をみると、具体的に動いている客が多く、販売に結び付いている。住宅ローンについても金利優遇幅をさらに引上げる銀行も出てきた。引き続き景気は良い状況で推移するのではないかと。	
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・客からの情報では、ここ2～3か月の間では特に大きな案件等もなく、受注量もさほど変わらないだろうということである。	
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・例年4月は新茶の予約があるが、今年是非常に少ない。特に4月からの値上げによって消費者は買い控えている感じを受けている。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・お茶の販売量も茶葉の時代から粉末茶の時代に様変わりしているとはいえ、急須を使わない粉末茶の売行きも芳しくない。専門の立場からすると、客は粉末茶に飽きがきているのではないかと感じてしまう。高級茶葉を買う客はどんどん減ってきているのが現状である。
	スーパー（店員）	・来年4月の消費税増税を踏まえて、無駄な買物は極力控える傾向にある。現在、単価の動きも低単価商品や必要な物だけと、大きく偏りがみられる。
	コンビニ（経営者）	・デフレ脱却と新聞、テレビ等で騒がれているが、現場としては、その片りんもまだみられていない。どんどん物の値段が下がっていく感じを受ける。
	衣料品専門店（経営者）	・世間ではアベノミクスと騒いでいるが、円安による物価高騰で景気が本当に末端の実体経済にまで表れるまでには時間がかかる。特に、中小企業はそうだと思う。このところの国際情勢をみても厳しい要因のほうが多いのではないかと。
	家電量販店（店員）	・アベノミクス効果といえども、一部が潤っているだけで肝心の景気回復には至らない。
	乗用車販売店（販売担当）	・個人消費は落ち込むと思うが、法人は見積依頼等多くある。消費税増税の話題がもっと報道されたり、直前になってから個人消費が増える。
	住関連専門店（統括）	・様々な政策が始まっているが、まだ収入に還元されることはなく、冷え込みはこのまま続く。

		一般レストラン（経営者）	・3か月先は、ニッパチとってかなり売上が落ちるため、今より当店の景気は悪くなる。
	悪くなる	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・商業施設が多過ぎる。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・一般市民の給料が上がらずに物価が上がれば生活が苦しくなるのは当たり前で、景気はもっと悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・何とか努力をして来客数が増え、売上も増えて店が活気付いてくると、本部が近隣に新しい店を出してくる。その繰り返しで一向に生活が良くならない。いよいよ当業界は、飽和状態から余りすぎるぐらいの状態になってきた。これから良くなる見通しはない。残念である。
企業動向関連	良くなる	金融業（支店長）	・明らかに投資マインドは良くなっており、経済、財政政策はひとまず成功といえる。実のある次の一手に期待する声が多い。
(南関東)	やや良くなる	税理士	・円安の効果で輸出産業を中心に活力が出てくる。
		食料品製造業（経営者）	・大口の注文とスポット販売が決まったため、売上は伸びるが、通常の客は厳しい状態が続くそうである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・4月は新会社の設立に関する登記の印鑑注文が10本あった。通常6～7本なので、4月という季節性を抜いたとしても多いと感じている。法人関係、店頭での受付もやや上向きである。
		金属製品製造業（経営者）	・大手中心に景気は回復基調にあるとは思いますが、中小企業にとっては円安の影響はない。円高時にコストダウン要請にこたえざるを得なかったが、円安になってもコストアップは認められない。また、現地調達がかなり進行してしまったために、現地生産されたものが戻ることはないが、海外移転は少し止めることができるだろう。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在の引き合い状況から推察すると、2～3か月先からの受注が望めそうな物件が増えてきている。他社との競合も激しくなるが、物件が増えれば受注の増加も見込める。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・最近、景気が良い、景気が良いと噂では聞くが、具体的にはこうだというものはない。しかし、景気が悪いということがなくなっているため、そういった意味では、一般的にお金が動き出しているのではないかと。良くなるのではないかとという希望的観測を持っている。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・アベノミクスの影響で世の中の景気が良くなる期待感はあるが、まだ消費者の行動には出ていない。しかし、今後は少しずつ芽が出てくる。
		建設業（経営者）	・景気対策の公共事業が始まってくるため期待している。
		建設業（営業担当）	・アベノミクスにより、依然として自動車販売や工場、教育関連の設備投資による建て替え、改修工事の依頼が増え続けてきている。
		建設業（経理担当）	・仕事の種類や利益が出るかどうかは別として、一時より見積案件が多く出始めているため、仕事が増えそうである。
		輸送業（経営者）	・6月より新規店の配送が予定されており、それ自体は大変歓迎しているものの、取扱量の低迷が続く現在、新規店の増加イコール増益とはなかなかいかない。楽観視はできない状態であるが、期待はしている。
		通信業（経営者）	・アベノミクス効果のためである。
		通信業（広報担当）	・円安等の効果はタイムラグがあり、これからその影響が出てくる。
		不動産業（総務担当）	・オフィス空室率が改善傾向にあるため、いずれ賃料も上がってくるのではないかと期待が持てる。
		広告代理店（経営者）	・希望ではあるが、3か月後くらいには好景気のおこぼれ程度は味わえるだろう。
		経営コンサルタント	・消費マインドが高くなっている傾向である。
		経営コンサルタント	・商店街の会合では、2、3か月先はお中元セールが始まるころであり、サラリーマンの夏季賞与に期待している人が多かった。大手企業の業績改善の結果が、取引先企業の賞与にも出るのではないかと。もっと先だと言う人もいるが、以前に比べて期待する声が増えている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・株価の上昇による含み益のためである。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・公共事業は見込めないが、箱物の警備の見込みがある。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・酒を扱っている飲み屋や料理屋の様子を聞くと、良くなるにはもう少し時間がかかりそうである。
		繊維工業（従業員）	・アベノミクス効果で円安、株高が進んでおり、景気が改善しているとの報道が盛んだが、中小企業の国内製造業には景況感はその逆で、輸入に頼る原材料が高騰して入手が困難なうえ、納入価格は現状維持であり、注文量も減少傾向にある。

出版・印刷・同関連産業（経営者）	・季節的に当社の売上は減少期になる。しかし下請業務の増加には期待している。
出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・個人消費は上向きでも、企業の消費はまだ抑えられている。
化学工業（従業員）	・新聞、テレビのニュースでは景気が良くなっていると言われているが、販売先、仕入先等からは、少しも良くなっているとの声は聞こえてこない。また、製品の動きも良くなっていくとは思えない。
プラスチック製品製造業（経営者）	・アベノミクスの影響か受注量や新企画の話等に明るい兆しはみられるが、まだ話だけの段階で、決定するには時間がかかりそうである。
金属製品製造業（経営者）	・次々と政策が打ち出され、景気が上向くと期待感も維持できているが、確実に業績が良くなるのにはまだ時間がかかりそうである。
一般機械器具製造業（経営者）	・売上が少しずつでも伸びることを願っているが、今のところ横ばいである。もう少し頑張っていきたい。
一般機械器具製造業（経営者）	・このところ新しい仕事の話がどの客からもぼったり止まっている。秋口にかけて忙しくなる準備をこの2、3か月でして、秋口に立ちあがるというのが毎年のパターンだが、ここで新規の話がないと少し厳しい。
電気機械器具製造業（経営者）	・実際の数字が継続して上がるかどうか見通しはついていないため、良くなるという判断をするには、まだ早いと思う。
精密機械器具製造業（経営者）	・企業の生産拠点を海外へ移す動きは為替に関係なく加速するため、日本では物の値段が高くなるだけで生活は苦しくなるばかりである。
輸送用機械器具製造業（経営者）	・現在小型トラックは良いが、大型トラックは在庫調整中ということで全然材料が動かない。アベノミクスでこれから少しは体制を立て直して良くなっていくのではないかと思うものの、やはり停滞感があり、少しでも元気が出るような要素はない。例年であれば5、6月と少しは良くなるので期待している。
輸送用機械器具製造業（経営者）	・大手完成品メーカーは輸出すれば円安効果で利益が上がっていると思う。下請の部品メーカーは親会社から値上げをしてくれない限り、厳しい状況は変わらない。値上げを認めるように指導をお願いしたい。
建設業（経営者）	・景気対策、経済対策の効果が我々にまでまだ下りてこない。
輸送業（経営者）	・荷主からも全く先が読めないということを言われており、忙しい時は忙しいが、びたっと止まったりもする。本当に波があって、我々零細企業は大変苦勞している。
輸送業（総務担当）	・国内出荷が微増だが増加し始めている。東北方面は車両が足りない。また低運賃のため地方へ帰る車両が集まらない。自車で配送すれば首都圏の配送車両が足らなくなってしまう。運賃を上げてもらわなければ復旧、復興輸送にも対応できなくなると苦慮している。
金融業（統括）	・円安、株高で景気は良くなると思うが、2～3か月ではまだそれほど変わらない。もう少し先であれば上がっているのではないかという期待はある。
金融業（従業員）	・建設業、不動産業では業況回復の気配があるものの、小売業、サービス業の業況は依然として厳しい。経済対策の効果が中小企業にまで広がるのか、慎重な見方が多いようである。
金融業（役員）	・このまましばらくは、気分だけが先行するように思われる。実際の生活が変化するのは年末ぐらいではないか。円安によるデメリットだけが先行することのないよう、財政支出と財政再建に注力してもらいたいとの意見が多い。
金融業（支店長）	・来年の消費税増税や、燃料費の高騰でまだ各業種とも今後の売上見通しが立っていない。経費が増えるため、景気が上向くとは考えにくく、様子見で今の景気が続くのではないか。
不動産業（経営者）	・新築が苦戦しているため、しばらくはこの状態が続く。
広告代理店（従業員）	・受注や販売予想は前年度とほぼ変わらない。
経営コンサルタント	・通貨の供給が増加すれば物価は上がることが過去の経験から分かっている。実体経済の成長がなければ物価の上昇は、経済に何も恩恵をもたらさない。したがって、このところの変化は期待できない。
社会保険労務士	・良くなるという要因がまだ見当たらない。
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・好景気というニュースが流れているが、広告などの業界にまで下りてくるのは、まだ先のことである。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長） ・仕入原価の値上げ要請が強くなっている。この部分をクライアントに転嫁することが非常に厳しい状況のため、ますます悪くなる傾向である。



	金属製品製造業（経営者）	・電気料金や材料の値上がりがあり、これを上乗せできずに実質マイナスになる。また、客先が2社からの購買になり、値下げをしなければ注文が取れなくなるため、これから先が不安である。	
	税理士	・シェールガス革命がけん引して、アメリカの景気が良くなってきているため、日本からの輸出等が伸びていく。中国経済はEU向け輸出が不振であるが、他の新興国向け輸出が伸びている。日本経済はアベノミクスで、政治が大きく引っ張っている。旧政権の時と比べて、政治自体が、大きく引っ張ってきているため、良くなっていく。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場の稼働率は夏ごろには低下の兆しとのことであり、先行きの不透明感の根強さに加え、厳しい原材料価格の上昇が重くのしかかる。	
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・元請会社の契約が他社に取られ、5月末日で2件の解約物件が発生する。6月から内定していた新規物件もあったが、こちらも他社に逆転されてなくなってしまった。いまだ低価格競争は続いているため、本当の意味でのデフレ脱却に期待したい。	
	悪くなる	建設業（経営者）	・やはり消費税増税で2度の足踏みがあるのは必至である。
雇用 関連  (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・月の状況としては段々減っていく形になるが、他社に出ている分を当社で新規に受注する予定の5社が入れば相当の盛り上がりがある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・人事担当者の表情が明るい。求人増を待ち望んでいた感がうかがえる。
		民間職業紹介機関（職員）	・心理面での回復が進んでおり、5月を過ぎたあたりから求人や採用者数が増えていくと思われる。また、参議院選挙も控えており、このムードが下火になる可能性は低いと思う。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・景気が悪くなる要因が少ない。
		人材派遣会社（営業担当）	・派遣労働者市場に関して、求人数は若干回復していると思う。依頼がある背景も派遣交替要員ではなく、業務量増加に伴う新規採用が多くなってきている。
		人材派遣会社（支店長）	・派遣の求人数は、ここ3か月ほど弱含みだが右肩上がりが続いている。
		人材派遣会社（営業担当）	・アベノミクスによる好転の実感はまだないが、期待感の衰えもない。人事担当者からは、今後の設備投資や人材確保への動きが現実味を帯びてきているという声が聞かれるようになっていく。
		人材派遣会社（営業担当）	・採用数が増え、雇用が増えれば企業での業務改善なども進み、投資も進むと想定している。ただし、賃金水準は以前ほどには戻らず、雇用形態の有期比率も上がると思われる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・秋採用に向けての企画を検討している企業がある。また、就職活動開始時期が3年次の3月にずれ込むことが確実であり、3年次の夏場のインターンシップに注目が集まり始めている。予算組み替えの検討が始まっているようである。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・具体的な要因はないものの企業側担当者との話で、何となく明るいムードが漂っている。以前のような閉塞感は見られない。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・徐々にではあるが、求人募集広告の量が増えてきているため、今後更に増えるのではないかと。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・景気が上向いているという雰囲気、ようやく中小企業にも伝わってくる。
		職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向が続いているためである。
		民間職業紹介機関（経営者）	・為替の影響を受けにくい体制を既にとっている企業が多く、人材をそろえる環境が出てきているようである。
		民間職業紹介機関（職員）	・4月は新卒入社を受け入れ、採用業務が多忙のため、中途入社の求人数は大幅に増えていないが、新卒が落ち着く6月ごろからは、もう少し求人が増えると予想している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・今後も人材需要はおう盛であることが見込まれる。
		人材派遣会社（社員）	・経営者の何人かと話をしたが、円安、株高が良い方に作用する企業と、そうではない企業との差が徐々に広がっており、それがどこで縮まるのか、このままいくのかどうか、しばらく見極めなければならない。また、参議院選挙もあるため、秋にどう変わるかだろうという人が多い。
		人材派遣会社（社員）	・2、3か月先の需要についての話も出てきており、しばらくは企業からの求人数が堅調に推移しそうである。
		人材派遣会社（支店長）	・求人が増えても求職者とのミスマッチが多くあるため、なかなか成約へ結び付かない。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・株取引を上手にやっている人だけが潤うような仕組みのため、世の中全体としてはあまり変わらない。
		職業安定所（職員）	・現段階での短期動向については変わらない。

	職業安定所（職員）	・最近の円安、株高の影響が一部の企業には好影響を与えているが、賃金に反映されるまでに時間がかかり、電気料金や円安による輸入品の値上がり等で財布のひもがきつくなってしまう恐れがある。
	職業安定所（職員）	・円安により輸出関連企業が業績を伸ばす一方、飲食業界では、原材料の調達コスト上昇を価格に転嫁できない等の情報もある。また、円安の恩恵を受けている中小企業でも、賃上げについては様子見との情報もある。今後、円安による日常生活品の価格上昇などが懸念される。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・全般的に早期化している募集活動状況ではあるが、各企業への状況調査より、今月と同水準での求人獲得見込みである。
やや悪くなる	—	—
悪くなる	—	—